

# 夢じゃーなる

Vol.

14

第4期阪神北地域ビジョン委員会だより

平成20年（2008年）7月

発行／阪神北地域ビジョン委員会  
編集／阪神北地域ビジョン委員会広報部会

[http://web.pref.hyogo.jp/area/n\\_hanshin/vision.html](http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html)

題字：早野 邑水

ビジョン委員会活動グループレポート

**特集**

**「身近な環境を考えよう」**

～第3分野の活動から～

## 目次

- ◆特集 ビジョン委員会活動グループレポート 「身近な環境を考えよう」～第3分野の活動から～・・・2～6
- ◆ビジョン委員会活動グループのイベント案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ◆活動報告／「であいたい紀行」③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

# 特集

## 第3分野

環境問題は現代社会が取り組むべき最優先課題の一つですが、ビジョン委員会でも第3分野のグループが“身近な環境”の中からテーマを選び活動しています。

夢ジャーナル14号では、第3分野の活動を特集し、読者のみなさんにご紹介させていただきます。

各グループが趣向をこらした様々な活動をしていますので、ご意見・ご声援をよろしくお願いします。

# 「身近な環境を

## ～第3分野の活動から～

Report

### 第3分野⑦ 街の緑を守り育て隊

第7グループは、発足以来1年が経過しました。その間、各委員は隊の目標（街路樹や公園等の「街の緑」の効用が十分に発揮できる管理・保全の在り方等についての提言等）に向けて、広い範囲にわたり街路樹・公園・緑地等を調査研究してきました。今回は、それらのうち、特徴のあるものを紹介します。



美しい街路樹の街並み

平成19年8月26日 川西市現地調査

川西市南野坂では見事な楠の並木があり、美山台ではナンキンハゼの並木が豊かな緑を留めていました。けやき坂のアメリカカブは強剪定されていました。

川西市に何うと、予算上3～4年周期の剪定になってしまうので、落葉を少なくするため、さらに電線保護、交通安全確保等から強剪定になってしまうとのことでした。



## 平成19年11月9日 三田市現地調査

ニュータウンの幹線道路と住宅の間の街路樹は素晴らしく整備されていました。一方、駅前にもう少し緑が多ければ良いと思いました。

## 平成20年2月22日 宝塚市緑のリサイクルセンター視察

数百年の歴史を持つ植木産業のある市ならではのアイデアで、ゴミ処理と緑化の両立を図る方法として注目の施設です。また、中山桜台も訪問しましたが、自治会に緑化部を置き環境整備に本格的に取り組んでおられ、学校周辺・公園・街路の桜を中心に樹木が美しく整備されておりました。



強剪定されている街路樹

## 平成20年3月28日 県政出前講座

街路樹の管理についての県の話伺いました。植樹管理は、日本道路協会作成の「道路管理基準」に基づく「兵庫県道路緑化基準」により行い、樹の枝の地上からの高さなども定められているとのこと。住民からは、落ち葉の清掃をして欲しい、視界を妨げる等の苦情や剪定が強すぎるといった意見があるとのことでした。住民への緑の啓発活動を活発に行い、豊かな緑の保護・創造に向けてさらに頑張っていただきたいと思います。

# 考えよう」



「たんたん小道」で説明を聞くグループ委員

## 平成20年4月25日 たんたん小道視察

伊丹市の緑ヶ丘公園から昆陽池公園の深い緑の樹林帯を結び、岩肌を流れるせせらぎと緑のマッチした新緑の「たんたん小道」を歩きました。西は昆陽池の旧堤の松・桜を始め榎（エノキ）・椋（ムク）・ラクウショウ・アベマキ・クヌギ・コナラ・マテバシイといった様々な種類の木が植えられています。しかし日陰や落葉樹の苦情など、他市と同様困難な問題を抱えていました。

### ◆グループの考え

これまでの調査の結果、グループとしては次のように考えています。

住民からの色々な意見もありますが、阪神北地域の市町の自然をさらに豊かにするため、行政や市民は緑化への大きな夢を持ち続け、さらに優れた姿を模索していただきたいと思います。

それには、①行政が美しい都市創造への緑化哲学を強く持つこと、②街路樹沿線の住民と、周囲の住民の間に街の緑化について意識の共有をさらに進め、市町からの、またそして住民相互の不断の啓発を行うことが必要と考えます。

これらは困難なことでもありますが、難しく捉えず、楽しみながら皆が助け合って美しい緑豊かな街実現のため一丸となって実践することが重要でそのために、月に2時間のボランティアに励めば緑豊かな美しい街になると考えています。

皆で楽しみながら街のために汗を流しましょう。

## 第3分野⑧ らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

### グループ紹介

#### 1 / 目標

環境の“らぼ”（研究）を通じ、ゴミを排出する我々の生活環境（ゴミ環境）が自然と調和する環境共生型社会となる道を探り、私たちの子どもの頃の良い環境を、次世代を担う子ども達に送りたい。

このため、ダンボールコンポストによる堆肥づくりを行い、それを利用した作物づくりを体験する機会を通じ、農業の活性化で食糧自給率を高めること、地域社会の安定化に貢献すること、自然環境の保全力が高まることを訴える。

また、ゴミの無害化・有効利活用を提案し、実践する。

#### 2 / 具体的な推進項目

- (1) 4市1町のゴミ処理の実態調査、分析及び効果的な対策の提案
- (2) ダンボールコンポストによる生ゴミの堆肥化
- (3) 太陽光等利用による新しいゴミ処理システムの勉強、啓発

#### 3 / グループ紹介

活動の第一歩として、ダンボールコンポストによる生ゴミの堆肥化を通じ、子ども達に地球環境の大切さを教えます（子ども達と“らぼ”します）。



## 活動状況

「らぼ・こどもと・ゴミ環境」グループは、生ゴミを利用したダンボールコンポストの堆肥で農作物をつくり、今年の秋に子ども達と農作物の収穫祭をしようと考えています。

まず、グループのメンバーや協力者が集まって畑の準備や農作物の植え付けを行いました。



多くの人に収穫祭に参加してもらおうと、阪神北地域の皆さんにダンボールコンポストの説明会を行っています。ご希望があれば、皆さんの地域にも伺います。



ダンボールコンポストの説明を行った後、メンバーのつくったもち米のお餅をいただきました。





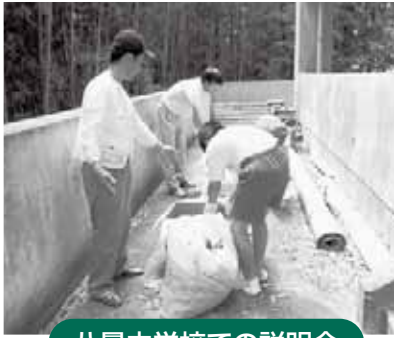
生ゴミを混ぜる



ダンボールコンポストの作り方

ダンボールコンポストの材料は、ピートモス（ミズゴケ等の植物が堆積し、腐植化した泥炭を脱水、粉碎、選別したもの）と、もみがらくん炭、ダンボール（みかん箱程度の大きさ）です。ダンボールの中でピートモスとも

みがらくん炭を混ぜ、後は家庭から出た生ゴミを入れていきます。4ヶ月程で堆肥になり、家庭菜園等で利用できます。



八景中学校での説明会



できあがった堆肥です

～ゴミ減量は行政任せにせず、できることから始めることが大切。身近なことからスタート!!～



世界田植え選手権

皆さんに田植えを体験する場を提供しようと考えたところ、多くの方の協力を頂き、「世界田植え選手権」と題したイベントを開催することができました。

当日は、小雨交じりにも関わらず多くの方にご参加頂き、総勢60名を越えるイベントとなりました。

ダンボールコンポストの説明の後、早速水田に入り、ドロドロになりながら、田植えを楽しんでいました。

秋の収穫祭が楽しみです。



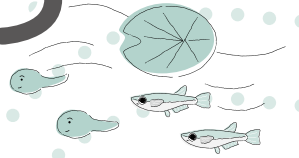
参加者募集!!

「らぼ・こどもと・ゴミ環境」グループでは、ダンボールコンポスト説明会や農作業体験への参加者を募集しています。詳しくは、夢じゃーなる13号8ページをご覧ください。

## 第3分野⑥ 水グループ



## 水について語ろう



第6グループは、とことん水にこだわり、安心して水を利用できる水環境の構築とそのため啓発活動を目標に活動してきました。今回は、外国人と我々で異なっている水に対する感覚を考えることを主なねらいとして、外国人留学生との討論会を実施しました。



妍麗さんとベットさん

平成20年2月15日（金）の午後、阪神北県民局の地下第3会議室で、関西学院大学上ヶ原キャンパスに留学されている<sup>しょうけんれい</sup>蒋妍麗さんとベット・サムエルさんをお招きして「水」について語り合いました。

水についてのそれぞれの国の事情、中国やアメリカから見た日本の水、そして水質や飲料水・工業用水・灌漑用水等についての自由討論です。水グループのいつものメンバーに加え、今回は親しいシニアカレッジの学生にもご参加頂きました。阪神北地域にお住まいの外国の若い世代と大いに語り合い、「水」に対して持っている我々とは少し異なる感覚や我々日本人が忘れてきている「水」への思いに触れることができました。

妍麗さんは中国の山東省出身で、見かけは日本の女性と少しも変わらない雰囲気です。また、ベットさんはアメリカのボストン出身で知的で陽気な方です。お二人とも二十歳ぐらいの青年ですが、日本人の水に対する行動について深く観察をされているので驚きました。

あっという間の楽しいひと時でしたが、その中から印象に残るものを報告します。

- 日本では豊富に水を使えるが、中国では水を配給している地域があり、歩いて水をもらいに行っているなど、自由に水を使えない人々も多い。

- 体を温めるため日本人はよく風呂に入るが、アメリカ人は部屋の温度を高める。どちらも体の内部を温めるという点で、同じ効果があり、人間にとって必要なものである。



お風呂について話しています

- 暖房については、日本の家庭では電気のエアコンが多いが、窓際の温水配管によるラジエーターの方がよいと思う。部屋が暖まり、洗濯物も乾く。

その他、話は盛り上がり、水以外の内容にも及びました。

- 阪神北地域は、夏は山東省ほど高温多湿でなく、冬はボストンほど厳寒ではないので、その時期の帰国を避けたいほどの楽しい留学生活を送っている。
- 日本の食堂では肉の揚げ物が多くて野菜が少ない。これではこれからの若者の健康が心配である、昔のように豆腐やゴボウを食べるのがオシャレと考える。



議論が白熱 … 噛み合わない?

文化の違いもあり、どこまでお互いに理解できたか分かりませんが、アメリカや中国の若者のほうが、水道を完備し便利な生活を送っている日本人よりも、水を大事にしているように感じました。

## イベントのお知らせ

阪神北地域ビジョン委員会の関係するイベントをご案内します。詳しくは阪神北県民局地域ビジョン課（☎ 0797-83-3119）までお問い合わせください。

### 第1分野① 多世代交流グループ “じばヤング”

川西市大和地区で行われる  
大和団地3世代交流まつりで  
『昔の遊び』コーナーを実施します

日 時／2008年11月1日（土）10:00～  
開催場所／川西市大和西 平木谷公園

親・子・孫が集まり、身近にある簡単なものでおもちゃを作り一緒に遊びたいとおもいます。おとな達も童心に戻り、子ども達に負けないよう楽しめます。



### 第1分野② ゆったり子育てサポートグループ

子育てをテーマとした講演会の開催を  
予定しています

子育て中のお父さんやお母さん!

多数のご参加をお待ちしています。

日 時／2008年10月18日（土）13:30～15:00

場 所／宝塚市立男女共同参画センター  
学習交流室 1A（「ソリオ2」4F）

最寄駅／JR 宝塚駅・阪急宝塚駅 下車すぐ

講 師／松葉 牧子氏（元幼稚園園長）

テーマ／楽しみましょう、子育てを!  
～上手なほめ方、叱り方～

対 象／就学前の子どもを持つお父さんや  
お母さん

その他／一時保育あります。

### 第2分野③ めだかグループ

## 夏休み親子水ロケット大会の参加者募集

親子・地域の触れあいを深めてもらう企画として、空ペットボトルを利用した水ロケットを作って飛ばす催しを伊丹市で開催します。お子さんにとっては、楽しい科学の勉強にもなりますし、夏休みの宿題対策としてもバッチリです。

参加費／無料

日 時／2008年7月19日（土）9:00～12:00

場 所／伊丹市立有岡小学校 体育館と運動場

用意する物／（材料・道具は少しだけ用意していますが、出来るだけご持参ください）

- 同じ形・大きさの炭酸飲料のペットボトル3個（1.5リットルまたは500ccで胴が真っ直ぐなもの）
- 乾いた牛乳パック2個（当日切ります）● はさみ ● カッターナイフ ● ホッチキス（出来れば針の大きいもの）
- ビニールテープ1個（色は自由）
- 油性マジックペン1本～好きなだけ（ロケットに好きな絵を描きます）

参加資格／どなたでも参加していただけますが、当日参加者が多くなりますと参加できなくなる場合があります。出来るだけご家族で参加してください。お子さんの単独参加も出来ますが、小学校3年生以下は保護者同伴でお願いいたします。



## 速報!!シンボルプロジェクト開催について

阪神北地域ビジョン委員会及び阪神北県民局では、団塊の世代の方を含めた普段はなかなか地域活動に参加できていない、これからの地域づくりの担い手となる皆さんを対象とし、地域見本市「地域ってこんなとこよ、お父さん!」を本年も開催する運びとなりました。

地域活動に関する著名な講師の講演や阪神北地域4市1町（伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町）で活躍されている地域づくり団体のパネル展示・発表、地域産業等の紹介、地域の特産品の展示、試飲、試食を予定しています。

本年も開催にあたり地域で活躍中の団体の出展の募集を行いますので、**出展希望の団体はお問い合わせください。**

**ただし、会場面積等の制限もあることから、ご希望に沿うことができない場合もありますので、ご了承ください。**

日時／2008年11月30日（日）  
10:00～16:00（予定）

場所／宝塚市文化施設ソリオホール、ソリオ1 3階フロア  
是非、ご参加ください。出展をお待ちしております!!



## 第2分野④ 明るく楽しく健康づくりグループ

### 伊丹市にて順次公演を開催!!

平成20年3月16日、桜もびっくりして咲き出したポカポカ陽気の日曜日のひとつ、伊丹有岡センター「サロン外城」にて第三回目の出前演芸を開催しました。食後のビンゴゲームが済んで、いよいよ出番です。

今回の出し物は、「和太鼓のみり」さんの出演で、拍手に迎えられ登場。創作太鼓「海のお囃子」をはじめ、一曲一曲、解説を交えながら演奏していただきました。センター内に響き渡る迫力満点の演奏に40余名の参加者もびっくりするやら聞き惚れるやら、最後にはバチの扱い方も教わり、鐘や笛にあわせてリズムをとりながら、参加者のお孫さんも一緒に老若男女が一体となって、一曲を完全演奏しました。「しんどい、しんどい」と言いながらも笑顔で肩こりもほぐれ、あつという間の1時間で、楽しいひとときを過ごしていただきました。

4月20日、桜も散って新緑がまぶしい日曜日の午後、伊丹市立神津福祉センター「ときめきホール」に80余名の来場者を迎え、第四回目の公演を開催しました。老人ホームを併設した施設なので、入所の方々も来場頂き、「和太鼓のみり」の勇壮な演奏で、祭囃子、民謡や踊りも交えてにぎやかに始まりました。続いては、軽妙な仕草にくすくす笑いの「青菜」落語を一席。次は演歌の世界へご案内、着物姿も艶やかに歌と踊りで楽しんでいただきました。特攻隊員の実話を歌った「三郎蛸」では、セリフもあって、来場者の涙を誘う場面もありました。

最後は、南京玉すだれや来場者も体験できる皿回しで楽しんでもらい、伊丹公演は無事終了しました。



皿回し体験



「和太鼓のみり」さんの演奏と踊り

## 第2分野⑤ 地域活動のしくみづくりグループ

現在、災害時要援護者支援制度について、伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町の取り組み状況を順に調査中です。市や町によって取り組みの状況や進み具合は様々で、内容も地域によって違ってきます。概ね、要援護者が登録をする登録制度が採用されていますが、その内容にも違いがあり、個人情報の問題と絡み、援護を必要とする人の情報の収集が難しいという状況が分かってきました。この制度を構築することによって、否が応でも地域内連携が求められます。災害時を想定して作られる制度ですが、この制度づくりの行程の中で、地域のつながりがつくりあげられていきます。

災害時要援護者支援制度を作る活動は重要だと思います。任期中にどこまで調査が進められるかは分かりませんが、活動のしくみづくりに役立てていただけるよう調査結果を報告します。

## 第4分野⑩ であいたい

### であいたい紀行 ③

#### 篠山街道・・・猪名川町歴史街道散策

前々回に散策した伊丹西国街道に摂津のへそといわれる「辻の碑(いしぶみ)」がある。ここから北へ街道が続いているが、途中の多田院までを「多田街道」、猪名川町域を貫き、篠山までを「篠山街道」と呼んでいた。この街道は丹波や奥川辺と、繁華な伊丹や池田を南北に結ぶ重要な街道であった。このたび「歴史街道」として整備されたので、昨年10月24日この篠山街道を歩いた。

木津上にある基点のひとつ「ふるさと館」に向かう。江戸時代の遊行僧であった木喰明満上人が文化4年(1807)、この地を訪れて彫った仏像(木喰仏)のパネルが展示されている。全国600余体内、町内には26体が現存する。いずれも上人最晩年の円熟した作品であり、親しみやすい微笑みを浮かべる微笑仏である。



天澤寺

向いの「天澤寺」は行基の開いた四十九院の一つ、楊津院(やないづいん)の後身と伝えられる。楊津という地名は古く、平安時代に作られた「和名抄」にもこの地名が見え、木津はその中心で川の港をさしていた。ここを拠点にしていたのが古代豪族で渡来系の楊津氏である。おなじ渡来系の行基の援助をしたとも考えられる。

鎮守社の八坂神社に残る長床(農村歌舞伎の舞台)を右手に見ながら旧木津橋へと進む。猪名川沿いに遊歩道ができてるのが最近整備された「歴史街道」の一部である。

江戸時代中期、篠山の丹波杜氏は伊丹・池田へ出稼ぎし、剣菱や男山など元禄期の銘酒を造り出していた。丹波杜氏の古記録に1755年



川辺酒造

篠山の庄右衛門が池田郷の大和屋へ杜氏として入ったとある。この道は杜氏たちの道でもあったであろう。町内の酒造家のうち、ただ1軒となってしまった「川辺酒造」を訪ねた。安永年間(1772~1780)に創業。昭和18年5件の酒造家が合併し酒造りの伝統を今に伝えている。10月はまだ仕込みが始まっておらず、工程の説明を受け、袋絞りの様を想像しながらにがり酒を試飲させていただく。美味である。今は但馬(旧温泉町)杜氏が味を守っている。

歴史街道の途中からバスに乗って「屏風岩」へ移動。江戸時代発刊の摂津名所図会にも描かれた景勝地である。高さ30メートルの奇岩が屏風のように立ち並ぶ。この渓谷沿いは難所で、古くは岩の上の峠道しかなく、岩の下の新道は明治末にならないとできなかった。

篠山街道は、人が牛に荷を付け、たくましく往来していた道なのであった。



屏風岩

## 編集後記

任期2年のビジョン委員会活動も1年余りを経過して、各グループとも軌道に乗ってきたように感じます。

今後の活動にご注目ください!

お問い合わせ先 / 兵庫県阪神北県民局地域ビジョン課  
宝塚市旭町二丁目四番十五号  
電話 0797-83-3119